

こ けんぎかい こ せんげん 子ども県議会 子ども宣言

せんそう せんご ねん へいわ 戦争(戦後80年)・平和

① 戦後80年の平和の誓い

わたし せんご ねん ふしめ いま い
私たちは、戦後80年の節目に、今を生きています。

ちいきたいけんかつどう い へいわきねんかん かん せんそう たいけん かた
地域体験活動で行った「平和祈念館」で感じたり、戦争を体験された方からのお
はなし き かくがくねんべつ へいわ ちか はっぴょう
話を聞いたりして、各学年別にまとめた平和への誓いを発表いたします。

【4年生】

しがけん せんそう つた へいわ たいせつ ひろ
滋賀県にも戦争があったことをみんなに伝え、平和の大切さを広めていきます。ま
た、いじめを見かけたときには勇気をもって周りの大人に知らせ、止める行動をしま
す。さらに、困っている人や悩んでいる人には寄り添い、話を聞いて支え合える社会
をつくっていきたいと思います。

【5年生】

せんそう きおく とお せんそう わたし ちか いしがき
「戦争の記憶が遠ざかるとき、戦争がまた私たちに近づく」この石垣りんさんの
し せんそう ただ まな つた
詩のようになってしまわないように戦争のことを正しく学び、みんなに伝えていきたい
です。

【6年生】

ひさん せんそう に ど く かえ わたし で き ご と つた
悲惨な戦争を二度と繰り返さないために、まずは私たちがその出来事を伝えてい
きます。そして、過去を忘れずに記憶し続けることが大切です。さらに、さまざまなくに
かんが かた まな たが りかい みと あ こうりゅう へいわ かんきょう
の考え方を学び、お互いを理解し認め合うことで、より交流しやすい平和な環境を
つくっていきます。

ちゅうがくせい 【中学生】

わたしたちは戦後80年となった今、過去に戦争の体験をされた方の話を聞いて世界という大きな規模での「争い」を無くしていけるよう、一つ一つの命の大切さを知り、多くの人や子供達に关心を持ってもらえるようにします。また身近な「喧嘩」などを「言葉で解決する」ということに力を入れていきます。

かんこう みりょく でんとう ぶんか 観光・魅力・伝統・文化

② 魅力見つかる滋賀へ

わたしたちが地域体験活動で訪れた「公文書館」「大凧会館」で、長い年月をかけて受け継がれてきた滋賀の伝統文化にふれました。大凧づくりには、地域の人々の想いや技術、歴史が込められており、それを守り続けてきたことの大切さを感じました。伝統は、ただ残すだけでなく、次の世代へ伝えていくことで生き続けます。私たちはこの体験を通して、滋賀の文化や歴史をもっと知り、自分たちの言葉でその魅力を伝えたいと思いました。滋賀には、誇れる伝統や文化がたくさんあります。その価値を大切にし、未来へつないでいくことが「魅力あふれる滋賀」につながると考えています。

ちいき 地域・まちづくり

③ 地域の人との交流が耐えない滋賀へ

わたしたちは、地域の行事に進んで参加し、人とのつながりを大切にします。地域体験活動で見学した「キラリエ草津」では、人が集まる居場所づくりをしていました。私たちも伝統行事やラジオ体操、地域イベントに積極的に参加し、交流があふれる、笑顔の絶えない滋賀をつくります。

きょういく こ がっこう いばしょ 教育・子ども・学校・居場所

④ いじめのない滋賀へ

わたし エスエヌエス ぼうし エスエヌエス じゅうだい
私たちは SNS でのいじめ防止をするため、SNS やいじめの重大さについて
あら かんが ひと み じぶん まわ おとな
新たに考えています。そしていじめられている人を見たら、自分から周りの大人
たちに知らせます。また困っている人や悩んでいる人の相談に乗ります。

かんきょう 環境

⑤ ゴミが少ない滋賀県へ

わたし ちいきたいけんかつどう おとず しがけんさん き しづん
私たちは、地域体験活動で訪れた「しがモック」で、滋賀県産の木にふれ、自然
ひと まな き もり めぐ ただ つか
と人の暮らしのつながりについて学びました。木は森の恵みであり、正しく使うことは
しづんかんきょう まも わたし だ びわこ みず い
自然環境を守ることにもつながります。また、私たちの出すゴミは、琵琶湖の水や生
ものの えいきょう しが たから びわこ まも しづん たいせつ
き物にも影響します。滋賀の宝である琵琶湖を守るために、マイボトルやマイバッグの
しよう た のこ へ くふう こうどう しづん たいせつ
使用、食べ残しを減らす工夫など、できることから行動していきます。自然を大切にし、
ゴミを減らし、きれいな琵琶湖や森を未来へつないでいきます。